

## 韓・日大學生の老人に對する知識に關する研究

○ 嶺南大学 李在謨 (韓国社会福祉学会会員)

崔正浩(嶺南大学非常勤講師・韓国社会福祉学会会員)

[キーワード] 老人に對する智識, 高齢化社會.

### 1. 研究目的

本研究は, 韓・日兩國の大學生を對象として老人に對する知識を比較分析することに目的がある。具體的な研究課題は次の通りである。一つ, 兩國大學生の社會人口學的特性はどのような差異があるのか。二つ, 兩國大學生の老人に對する知識はどのような差異があるのか。三つ, 社會人口學的特性によって兩國大學生の老人に對する知識はどのような差異があるのか。このような研究は, 儒教文化を共有してきた韓国と日本における韓国よりは先に高齢化社會を経験した日本の大學生と韓国の大學生の調査結果を比較することは韓国の高齢化社會における 老人問題解決に基礎資料を得ることで意義がある。

### 2. 研究視點と方法

本研究の對象は韓国の大邱地域と日本の大阪地域にある 4 年生大學に在學している大學生 343 名を 分析對象とした。資料収集は構造化した説問紙を利用して韓国は 2008 年 3 月一週, 日本は 2008 年 4 月一週に 各自國語で實施した。資料分析は調査對象者の一般的特性をしるために頻度分析を實施して, 集團間の差異を比較するために技術統計を使用して平均と標準偏差を算出した後, t, F および  $\chi^2$  檢證をした。集團間平均差の有意性を檢證するために一元變量(ANOVA) 分析をした後, Tukey 檢證を實施した。

### 3. 倫理的な配慮

本研究は倫理的な配慮として調査結果は統計的に處理し、研究以外の目的には使わないことを文書で説明し、應答者の同意を得た。

### 4. 研究結果

研究結果は一つ, 人口社會學的特性別差異を見ると, 韓国と日本における祖父母生存率は韓国より日本が高かった。祖父母と同居比率は日本より韓国が高くなっている。自願奉仕經驗に對しては日本の大學生が韓国の大學生よりもっと高くなっている。二つ, 韓国と日本の大學生の老人に對する知識差異を分析してみた結果, 韓国の大學生 7 個問項で高い正答率を表している。日本の大學生は 11 個の問項で高き正答率を表しているし, 日本の大學生が老人に對する知識が高くなっている。このような研究結果は, 韓国と日本の大學生が老人に對する知識に差異があることを表している。

表 1. 調査對象者の一般的特性

区分			韓国(174)		日本(169)	
			頻度(名)	百分率(%)	頻度(名)	百分率(%)
人口 社會的	性別	男	89	51.1	93	55.0
		女	85	48.9	76	45.0

\*\*p<.01, \*p<.05

特性	1 學年	41	23.6	41	24.3
	2 學年	77	44.3	55	32.5
學年	3 學年	44	25.3	48	28.4
	4 學年	12	6.9	25	14.8
専攻	社會福祉	140	80.5	120	29.0
	其他	34	19.5	49	71.0
主成長 地域	大都市	49	28.2	96	56.8
	中小都市	101	58.0	39	23.1
	農漁村	16	9.2	16	9.5
	其他	8	4.6	18	10.5
祖父母生存	はい	114	65.5	128	75.7
	いいえ	60	34.5	41	24.3
祖父母同居 (過去)	はい	82	47.1	68	40.2
	いいえ	92	52.9	101	59.8
祖父母同居 (現在)	はい	35	20.1	25	14.8
	いいえ	139	79.9	144	85.2
意味ある 老人	はい	134	77.0	124	73.4
	いいえ	40	23.0	45	26.6
自願 奉仕	自願奉仕 経験	81	46.6	90	53.3
	いいえ	93	53.4	79	46.7

表 2. 韓・日 大學生の老人に対する知識 \*\*p<.01, \*p<.05

問項	韓國(n=174)			日本(n=169)			Chi-square
	正しい n(%)	ちがう n(%)	わからない n(%)	正しい n(%)	ちがう n(%)	わからない n(%)	
1. 老人癡呆	85(48.9)	55(31.6)	34(19.5)	67(39.6)	77(45.6)	25(14.8)	7.100*
2. 感覺減少	100(57.5)	43(24.7)	31(17.8)	107(63.3)	38(22.5)	24(14.2)	1.364
3. 性關係	30(17.2)	124(71.3)	20(11.5)	27(16.0)	79(46.7)	63(37.3)	32.344**
4. 廢活量	55(31.6)	69(39.7)	50(28.7)	105(62.1)	35(20.7)	29(17.2)	32.257**
5. 時間悲慘	35(20.1)	93(53.4)	46(26.4)	48(28.4)	74(43.8)	47(27.8)	4.137
6. 體力減少	115(66.1)	33(19.0)	26(14.9)	113(66.9)	26(15.4)	30(17.8)	1.061
7. 施設滯留	84(48.3)	46(26.4)	44(25.3)	71(42.0)	32(18.9)	66(39.1)	7.932*
18. 運轉事故	41(23.6)	87(50.0)	46(26.4)	49(29.0)	42(24.9)	78(46.2)	24.599**
9. 職場生活	33(19.0)	93(53.4)	48(27.6)	53(31.4)	67(39.6)	49(29.0)	8.815*
10. 健康	47(27.0)	78(44.8)	49(28.2)	78(46.2)	38(22.5)	53(31.4)	21.570**
11. 變化適應	60(34.5)	70(40.2)	44(25.3)	39(23.1)	98(58.0)	32(18.9)	39.082**
12. 習得時間	78(44.8)	58(33.3)	38(21.8)	60(35.5)	50(29.6)	59(34.9)	7.415*
13. 憂鬱發生	40(23.0)	83(47.7)	51(29.3)	77(45.6)	41(24.3)	51(30.2)	25.859**
14. 反應時間	140(80.5)	24(13.8)	10(5.7)	127(75.1)	18(10.7)	24(14.2)	7.183*
15. 老人同一	28(16.1)	74(42.5)	72(41.4)	58(34.3)	67(39.6)	44(26.0)	17.502**
16. 退屈	55(31.6)	63(36.2)	56(32.2)	46(27.2)	70(41.4)	53(31.4)	1.180
17. 社會隔離	61(35.1)	73(42.0)	40(23.0)	81(47.9)	52(30.8)	36(21.3)	6.484*
18. 職場事故	42(24.1)	67(38.5)	65(37.4)	59(34.9)	38(22.5)	72(42.6)	11.158**
19. 人口分布	111(63.8)	27(15.5)	36(20.7)	101(59.8)	29(17.2)	39(23.1)	.590
20. 醫療優先	47(27.0)	70(40.2)	57(32.8)	59(34.9)	61(36.1)	49(29.0)	2.508
21. 老人收入	53(30.5)	63(36.2)	58(33.3)	95(56.2)	28(16.6)	46(27.2)	26.698**
22. 老人職業	85(48.9)	24(13.8)	65(37.4)	137(81.1)	9(5.3)	23(13.6)	38.979**
23. 信仰心	79(45.4)	41(23.6)	54(31.0)	98(58.0)	28(16.6)	43(25.4)	5.665**
24. 興奮自制	53(30.5)	83(47.7)	38(21.8)	59(34.9)	66(39.1)	44(26.0)	2.628
25. 經濟狀態	97(55.7)	37(21.3)	40(23.0)	61(36.1)	70(41.4)	38(22.5)	18.362**